

平成20年7月12日
宮 城 県

栗駒ダムへの異常流入について(速報)

平成20年7月12日午前0時頃、栗駒ダム上流の土石流センサーが作動し、午前0時40分に栗駒ダムの流入量が毎秒 4 m^3 から 29 m^3 に増加、午前1時20分に最大で毎秒 138 m^3 に達し、その後、徐々に流入量が減少、午前8時過ぎには毎秒 16 m^3 になっている。その間、約 58 万 m^3 がダムに流入したと思われ
ます。

栗駒ダム流入部から上流1.5km地点の洞万水位観測地点で、約1.1mの水位上昇が見られましたが、河道は12m程度の深さがあり、周辺への影響は無いものと思われ
ます。

なお、栗駒ダムは6月30日から土砂等の流入を考慮した洪水期管理を実施しており下流への影響はありませんでした。今回の異常流入による栗駒ダムの被害は、現在のところ発生しておりませんが、早急に原因を含め調査を行う予定です。

【参考】

- ◇ 7月12日午前8時現在の流入量 : 毎秒 16 m^3 程度
- ◇ " 貯水量 : 約 $4,900\text{ 千 m}^3$
- ◇ " 空容量 : 約 $8,800\text{ 千 m}^3$

問い合わせ先

宮城県農林水産部農村整備課 防災対策班

電話 022-211-2875

宮城県栗原地方振興事務所 栗駒ダム管理事務所

電話 0228-45-1306

宮城県土木部河川課 企画調査班

電話 022-211-3173

宮城県土木部防災砂防課 防災企画班

電話 022-211-3175

栗駒ダムへの異常流入について

平成20年7月14日

農 村 整 備 課

平成20年7月12日午前0時頃、栗駒ダム上流の土石流センサーが作動し、栗駒ダムへ約58万 m^3 の異常流入がありました。

これに伴い、ダムの水位は1m50cmほど上昇しましたが、事前に放流して空容量を確保していたこともあり、下流への影響はありませんでした。栗駒ダムが十分に機能したものと考えられます。

この異常流入の原因は、国土交通省による上空からの調査及び県北部土木事務所栗原地域事務所の調査に基づく情報によると、土石流が発生した痕跡は認められず、ダム上流部の局地的な降雨による御沢の濁水流出と、行者滝上流部にせき止められていた流木と濁水流出によるもので、土石流センサーワイヤーの切断は、土砂及び流木を含んだ水の流れによるものと推察されます。

一方、現在の状況は、水みちが形成され、以前の状況よりも危険性が低下していると考えられます。

なお、今後も、異常な流入に対処できるダム管理をしてまいります。

※参考 7月12日 0時現在 貯水位：189.24m
7月12日 8時現在 190.71m